

パイロ・オルタ・ノーヴァ(Bairro Horta Nova)
カルニデ(Carnide)地区の警察から逃れた犯罪者の隠れ家。薬物取引。

パイロ・クルース・ヴェルメリーヤ (Bairro Cruz Vermelha)
ルミアール(Lumiar)地区の公営住宅街。暴行事件や銃器取引

モスカヴィデ Moscavide
2011年侵入強盗
複数発生

Quinta do Mocho (Loures, freguesia de Sacavém)
3500人, 680戸
70年代から元植民地からの移住者によるこの地域の占有が始まった。90%がアフリカ出身。2008年8月にライバル・グループによる撃ち合いがあり、20歳の男性が死亡。

ローマ通り
2011年薬局強盗が
複数発生

オリヴァイス地区
2012年車両強奪、猟銃使用強盗発生・カフェ強盗

シェラス(Chelas)Jゾーン
マルヴェイラ区「死の通路」と呼ばれた建物の一角では薬物取引が頻繁。

ベンフィカ地区
2012年強盗事件が
複数発生

ルミアール地区
2012年侵入強盗、
カフェ強盗

アルヴァラーデ地区
2011年侵入強盗、
郵便局強盗発生
2012年貴金属店
強盗

キンタ・ド・ラヴラード (Quinta do Lavrado)
オリアス(Olaias)地区にあり、銃器及び薬物取引が盛ん。警察と対立

グラッサ地区
2012年カフェ強盗

マルティン・モニス (Martim Moniz)～インテント(Intendente)～アンジョシュ(Anjos):アルミラント・レイシュ通り(Avenida Almirante Reis)付近
過去薬物に端を発した関連犯罪が多発。ホームレスが出没。Anjos地区では、ここ数年来、区民が日中路上で強盗被害にあうケースが後を絶たず、午後8時以降、区民は恐怖心から外出をしなくなった。治安の悪化は、隣接するIntendente 地区での麻薬取引に原因があると考えている。

そのほか、**カンポ・ペケーノ**でも
複数強盗発生

リスボン市役所によると、市内にある民間所有の建物54,934棟のうち、7,757棟で管理状態が悪く、972棟については安全性が極めて低いという。管理状態の悪い建物に関し、特にCoração de Jesus区(マルクスボンバル広場～サルダニャ広場～を含む)では建物の半数近く、Santo-o-Velho区では67%、Santa Justa区では34%が管理状態が悪いとされている。2010年11月22日

Alcantara と Cais do Sodre地区
飲食街のため、深夜になると乱闘・強盗事件も多数発生する。2011年アルカンタラのディスコ「W」の前では複数の発砲事件発生

リスボン市内の問題地域

2010.8.30 Diário de Notíciasほか参照





2010.8.30 Diário de Notíciasほか参照

1 km
1 マイル

サンタ・イリア・デ・アゾビア地区
2011年
スーパー強盗、貴金属店強盗等発生

Bairro Quinta da Fonte (Loures, freguesia da Apelação)
1998年に開催された万博会場の建設用地として買収されたリスボン及びその周辺地域のバラック等の住民の移転先として1996年に建設され、住宅786戸に2,767人が住む。住民の40%がアフリカ系住民で、残りはロマ族及びポルトガル内陸部からのポルトガル人。2008年7月に発生した同街区内の路上での発砲事件は大きくマスコミに取り上げられた。若者が多い(人口の50%近くが20歳未満)。2010年8月28日アフリカ系住民がロマ族に発砲されて負傷する事件が発生した。
Bairro das Sapateiras
薬物の密売や官憲に対する暴力事件などで“有名”。

Quinta do Mocho (Loures, freguesia de Sacavém)
3500人, 680戸
70年代から元植民地からの移住者によるこの地域の占有が始まった。90%がアフリカ出身。2008年8月にライバル・グループによる撃ち合いがあり、20歳の男性が死亡。2011年8月6日午前6時頃、キンタ・ド・モッショ街区で、喧嘩が発生しているとの住民の通報で駆けつけたPSPサカヴェン署の警察官が、刃物で刺された男性を助けようとしたところ、居合わせた別の男性に頭を殴られるなどした。住民が多数集まってきたため、PSPでは40名の警察官を派遣して、事態を収拾した。同年11月5日にも発砲事件発生。

Bairro da Torre Camarate (Loures)

モスカヴィテ Moscavide
2011年侵入強盗複数発生

Quinta da serra

Barruncho Quintinha T. da Bela Vista Cidade Nova

Arroja

Quinta das Pretas

Odevelas (Loures)
2011年5月9日、警察官が容疑者を連行する際に、仲間らが擁護し、暴動となった。ショッピングセンターのあるD. Diniz通り周辺で強盗が多発している。

ロウレス市の問題地域

サンタ フィロメーナ (Santa Filomena) 街区

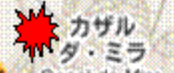
2011年7月1日 午後11時半頃、アマドラー市サンタフィロメーナ街区で、市内の別の街区から来た住民グループが発砲。サンタフィロメーナ街区の住民がこれに挑戦するなどしたため、PSPでは翌2日未明から数時間にわたって同街区の警戒を強化した。

Quinta das Pretas

カザル・ダ・ミラ (Casal da Mira) 街区

2011年発砲事件や警察との衝突が発生。

Quinta dos Cucos Vale Forno



カザル・ダ・ミラ
Casal da Mira

カザル・ド・ラット
Casal do Rato



ヴァーレ・ド・フォルノ
Vale do Forno

セーラ・ダ・ミラ (Serra da Mira) 街区

ポンティーニャ地区 (オディヴェラス市)
2011年車両奪取による誘拐・強盗事件・食金属店・ガソリンスタンド強盗事件発生



ヴェンテイラ
Venteira



アマドラー
Amadora

Estrela da Africa 街区
Fontainhas 街区

5月6日街区 (Bairro 6 de Maio) 2010年8月ギャング同士の衝突があった。2011年6月5日PSPパトロールカーが投石の被害に遭うなどしたことから、介入隊が出動。同街区の住民15人が、投石や公務執行妨害の疑いで逮捕された。

コーヴァ・ダ・モウラ (Cova da Moura) 街区
(住民7千人、カーボヴェルデ出身者を中心とする外国人移民が多く、住民の45%が若年層)
凶悪犯罪や“ギャング”と関係の深い街区で、犯罪の巣窟というイメージがある。

Cova da Moura (Amadora, freguesia da Buraca)
Santa Filomena, 6 de Maio, Estrela de África 6500人, 1200戸
1977年以降、同街区に住民が大量流入し、その75%がカーボヴェルデ人。そのほかアンゴラ、ギニア出身者も。最近では東欧出身者も増加。この地域では、警察と薬物取引者との衝突が発生している。男性の多く(44.5%)が建設労働者、女性は清掃関係に従事。住民の年齢層は比較的若く、麻薬や銃器の取引を中心に、リスボン地域で発生する凶悪犯罪の多くと関連がある街区として知られている。

Estrada Militar 街区

アマドラー市・オディヴェラス市の問題地域

CPシントラ線

犯罪の多い路線で、2009年1年間でおよそ200件の被害届が出された。CPシントラ線の1日の乗降客は約21万人で、50人のPSP鉄道隊警察官が警戒にあっている。



シントラ市の問題地域



アルカビデシェ 地区の
クルーズ ヴェルメーリャ
(Cruz Vermelha) 街区
アルカビデシェ地区では、
2011年車両利用の強盗
事件が複数発生。
2012年路上強盗発生。

サン・ドミンゴス・
デ・ラナ 地区
この地区で2011年
複数回カージャック
が発生している。

エストリル 地区
フィン・ド・ムンド
(Fim do Mundo) 街区
2009年に取り壊しになり
改善傾向にあり

マタラック 地区
カンボジア
Bairro do
Camboja 街区

2011年1月3日午前10時頃、ノ・ヴォ・ピニャル街
区(旧フィン・ド・ムンド街区)で、アフリカ系住民とロマ
族住民との間で発砲事件が発生。アフリカ系の男性
1人が耳に、ロマ族の男性が腹部にそれぞれ軽傷を
負った。対立の原因は、その2日前のアフリカ系住民
が所有する車の放火事件とされている。PSPカスカ
イス署から派遣された緊急介入隊の隊員など25名
が事態の收拾に当たった。

CPカスカイス 線
特に夏場に、乗り込んだ若者が車内で大
騒ぎをしたり、乗客の所持品を奪うなどの
窃盗事件が多発している。

トーレ(Torre)
街区

カスカイス市の問題地域

2010.5.27コレイオ・ダ・マニャン(CM)紙 参照

CPカスカイス線

乗り込んだ若者が車内で大騒ぎをしたり、乗客の所持品を奪うなどの窃盗事件が多発している。

ポルトサルヴォ地区
ナヴェガドールス
(Navegadores) 街区

サン・ドミンゴス・
デ・ラナ地区
この地区で2011年
複数回カージャック
が発生している。

カルナシデ地区
2011年カー・ジャック
が複数発生

リンダ・ア・ヴェーリャ地区
2011年複数のレストラン強盗の
他、現金輸送車強盗が発生

カシアス(Caxias)街区

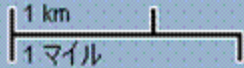
カルカペロス地区
Bairro das Marianas街区

カルカヴェロス地区
2011年ガソリンスタンド・銀行強
盗、カー・ジャック強盗が発生

パレーデ地区
2011年銀行強盗、ガソリンスタ
ンド強盗、侵入強盗が発生

CPカスカイス線アルジェス駅
アルジェス駅は、アマドーラ市やリスボン
市Buraca地区に住むアフリカ系の若者達
が海水浴に行くために利用されている。彼
らは、海水浴の前後に、隣接するスーパー
“Miniprego”に立ち寄り、店内で大声を出し
たり、客の鞆や財布を盗ろうとしたり、商品
の代金を支払わずにそのまま持ち去って
しまうという。2010/7/6付 DN紙

**カスカイス市・
オエイラス市の問題地域**



2011年6月12日午後10時過ぎ、市トラファリア地区のセグンド・トラン街区で、突然現れた白い乗用車に乗った男性らが、道路脇にいた同街区の住民に向かって発砲。住民の一人が胸部を撃たれて重傷を負った。発砲したのは、同市内コスタ・ダ・カバリカ地区のテラス・ダ・コスタ街区の住民で、2週間ほど前から住民同士の対立が続いていた。GNRが事態の収拾にセグンド・トラン街区に出動したが、興奮した住民から石やビンなどを投げられるなどした。2011年8月20日、コスタ・ダ・カバリカ地区で住民同士の乱闘

Vale da Amoreira

モイタ市内バイシャダバニエイラ地区ヴァレダ・アモレイラ街住民1万5千人、人口が密集し、アフリカ系住民及びロマ族など、多様な人種が共存。特に若者の集団による凶悪犯罪が目立つ。

Bairro da Jamaica

セイシャル市アモラ地区に位置し、非常に荒廃した街区。特に、旧植民地出身者が多い。1980年代後半に未完成の集合住宅を人々が占拠しはじめたことから始まった。セイシャル市役所では、2013年を目途にそれらの未完成の建物を取壊し、そこに住む人達を別の場所に移動させたいとしている。

ランジェイロ地区

2012年発砲事件

バイオピーレス地区 クセナ街区(Cucena)

アールヨス・ベドロス地区 フォンテ・ダ・プラッタ街区 (Fonte da Prata)

Quinta da Princesa (Seixal, freguesia da Amora)

約300戸
30年前に貧困家庭のために建設した合法地域。出身地は多くの地域におよぶが、旧植民地のアフリカ出身者が多数。薬物取引に関しては、ジャマイカ街区の“ライバル”的存在。そのため、両街区住民同士の乱闘事件などが頻発。2008年12月10日、住民が逮捕した男が釈放されたが、住民は犬を放って男を監禁。2006年の薬物取引者間の紛争が原因。

アレンテラ街区 (Arrentela)

2011年2月サッカー選手同士の小競り合いから警察が出動、バスの放火もあり介入部隊が警戒。

モンテ・デ・カバリカ地区

2011年カフェ、商店への侵入強盗事件複数発生

Bairro do Campo da Bola (Almada)

ソブレダ・ダ・カバリカ地区

2011年強盗事件複数、カージャック発生

シャルネカー・ダ・カバリカ地区

2012年喫茶店強盗、民家強盗

アルマダ市 トラファリア地区 セグンドトラン街区 (Segundo Torrão)

Pica-Pau Amarelo (Almada)

アルマダ市モンテ・デ・カバリカ地区にあり、テージョ川南岸一帯を運行するバスや路面電車(Metro Sul do Tejo)内で、強盗を重ねる青少年が多く住む街区。麻薬の取引が頻繁に行われている。2010年4月27日20~30人の集団が住宅、商業施設、駐車中の車輛等に火炎瓶や石を投げつける騒ぎがあった。同年6月にも暴動が発生。

アルマダ セイシャル の問題地域

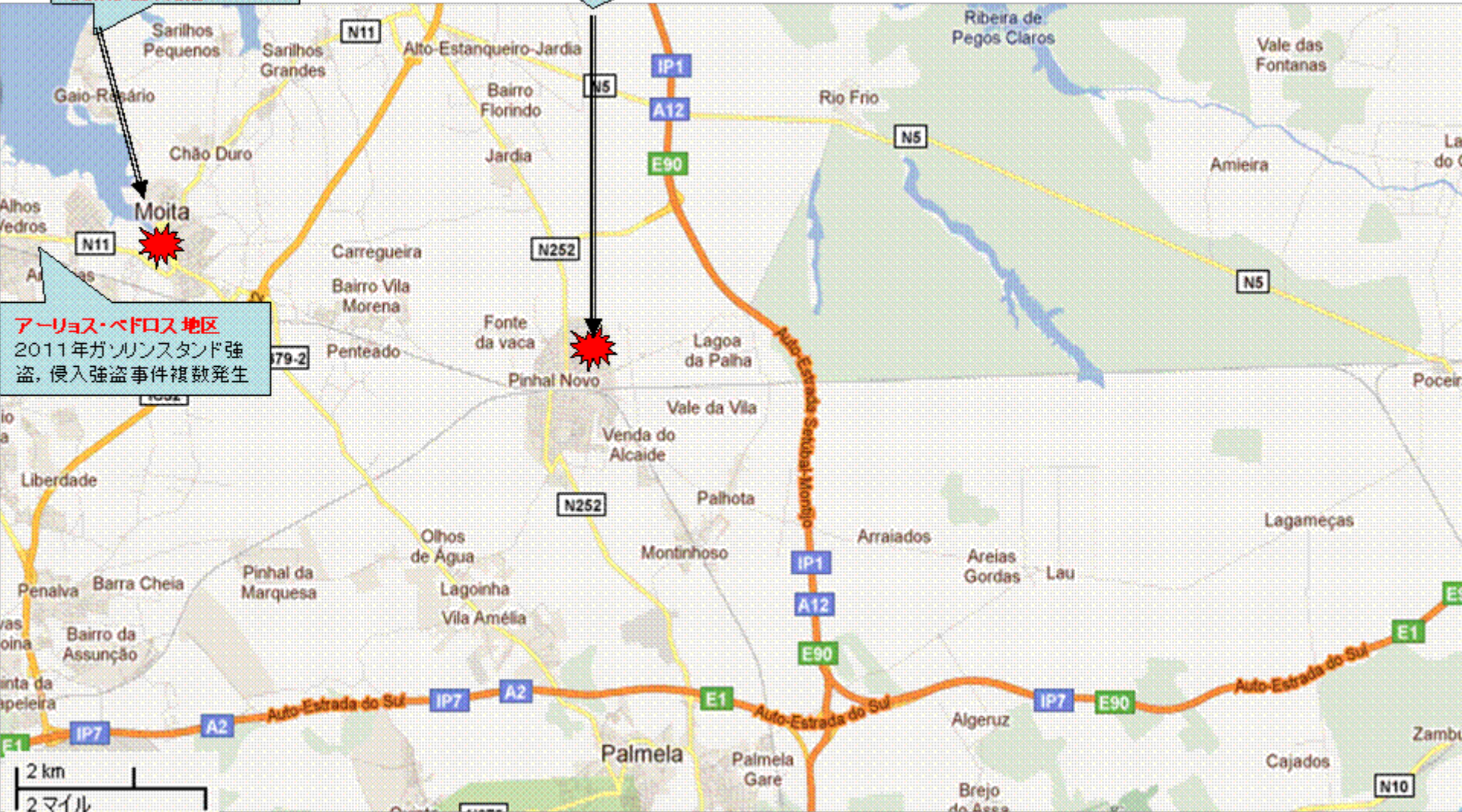
2 km
2 マイル



Pinhal Novo

2010年には、貴金属強盗ほか強盗事件が複数発生。2011年複数強盗事件発生。2012年CJ発生

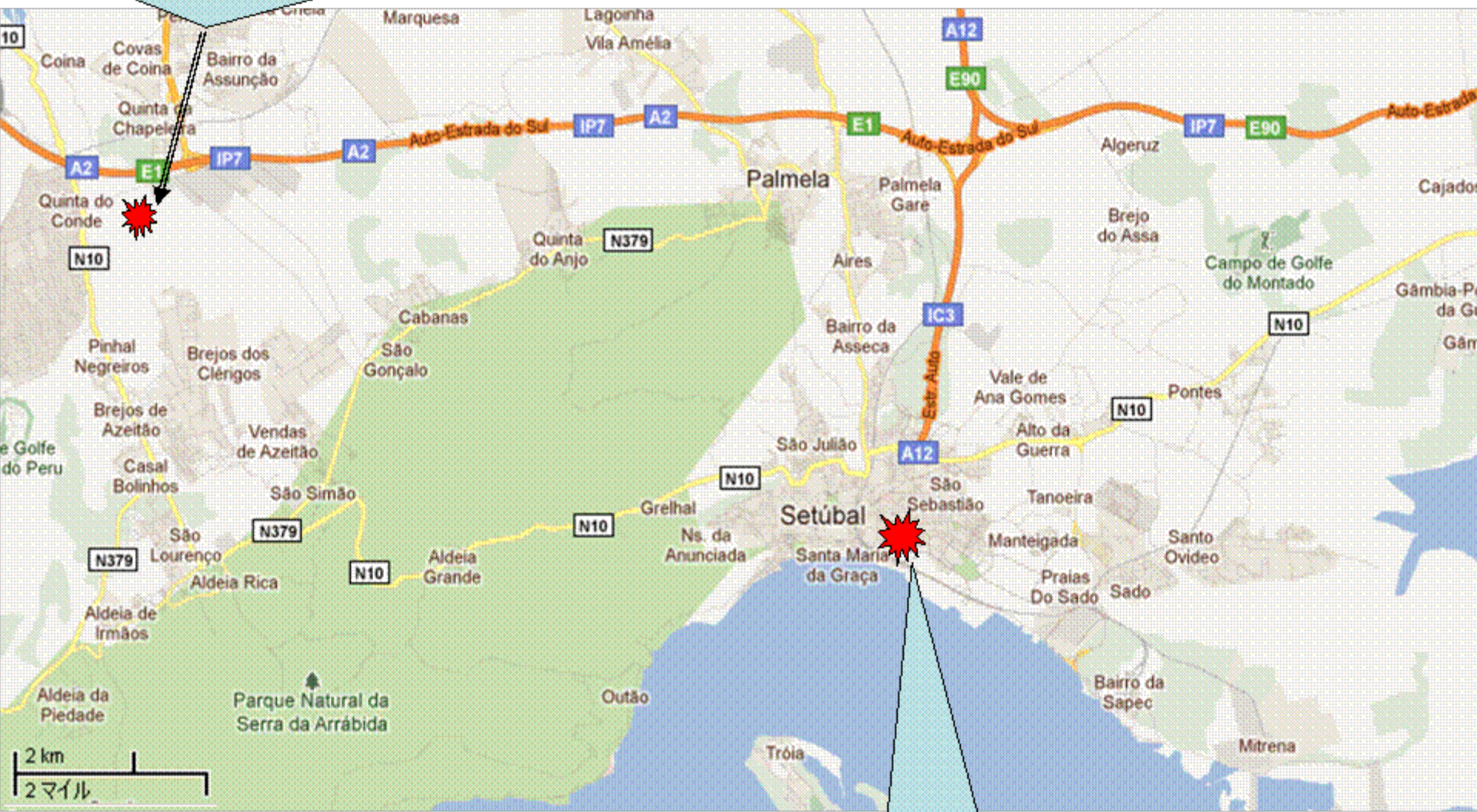
**フォンテ・ダ・プラタ街区
(Fonte da Prata)**



アーリョス・ベドロス地区
2011年ガンソリスタンド強盗、侵入強盗事件複数発生

**パルメラ市
モイタ市付近の問題地域**

Quinta do Conde セジブラ市内キンタドコンデ
セジブラ市内に位置する、非常に広範囲な街区。(1995年に“区”となり、面積14.22k
m²、住民26,085人)区画整備の不備やその荒廃などが目立ち、不法移民及び薬物取引
が顕著。2011年も暴力事件や武器による強盗事件が発生している。



セトウーバル地域の問題地域

Bairro da Bela Vista ほか、
多くの問題地域がある。
(「セトウーバル市内の問題地域」参照)

市中心部バイシヤ地区

夜8時以降、市内バイシヤ地区を歩く人は殆んどいない。2009年、同地区では強盗事件が頻発。

カマリーニャ街区(Bairro da Camarinha)

ベラ ヴィスタ街区ほど問題が多いわけではないが、乱闘事件や暴行事件などで警察が出動する事が多い。



ルイーザトディ通り(Av. Luisa Todí)

市内の目抜き通りであるが、その両端に位置する飲食店街では、強盗事件や乱闘事件などが多い。

ベントデジェズスカラッサ通り(Av. Bento de Jesus Caraca)

ベラ ヴィスタ街区に隣接し、この通りの商業施設で、犯罪被害にあっていないところはほとんどないと言われている。

ベラ ヴィスタ街区 Bairro da Bela Vista (Setúbal, freguesia de São Sebastião)

住宅1259戸、住民3842人。1980年に他の破壊地域からの家族や元植民地からの移住者が入り込む。多様な人種や階層の住民が共存している街区で、セトゥーバル市及び県内の犯罪の殆んどの原因があるとされている。2009年5月7日、GNR(共和国警備庁)の警察官により射殺された住民の葬式の後で住民の暴動が発生。自治体は地区の解体を目指す。2011年1月、PSP(治安警察庁)の労働組合SPP、アフリカ文化センター及び地域の消防署が協力して対立管理センターを設置。なお、ベラ・ビスタ地区のアマレラ街区の建物の塗り替えと街区内にある中庭の整備が2012年4月までに実施予定。またアズル街区については、取り壊しが計画されている。Azul 街区とCor-de-Rosa街区の再開発計画が持ち上がっているが、2011年12月CM紙の取材に対し、セトゥーバル市長は、「確かに3年前ここは同街区の土地に興味を示した業者もいたが、この不況下では再開発の実現は難しい」との見方を示した。

セトゥーバル市内の問題地域



Carregado

2011年複数の拳銃使用強盗事件が発生
2012年車両強盗、貴金属店強盗

リスボン県アレンケール市
サンタレン県ベナベンテ市の問題地域

Benavente Samora Correia地区
2011年貴金属店・銀行強盗発生

Bairro Pinheiro Torres (Freguesia de Lordelo do Ouro)

1137人, 430戸

ポルト市ロルデロ・ド・オウロ区にあるピニエイロ・トーレス街区
近年薬物取引で知られる。警察はポルト市における犯罪の重要な地域
であるととらえている。2008年には薬物取引者のグループによる闘争
で数人が死亡した。

Bairro do Cerco (freguesia de Campanhã)

2300人, 888戸

ポルト市のカンパニャ区のセルコ街区 (1963年に建設。住民2300人が
住む、ポルト市内で2番目に大きい社会住宅街。
薬物関連の犯罪の問題を抱える。ポルトの他の地域(S.João de Deus)から
の出身者が大部分。強盗や銃器の押収が頻繁に起こる地域。



Bairro de Aldoar

São João de Deus
解体済み

Bairro do Lagarteiro
(住民1,800人、カン
パニャ区に位置)
公営住宅街。2010年9
月から建物の補修工事
などが進められており、
2012年7月に完成予定。

Sé街区
薬物の“メッカ”とし
て知られている。

Bairro da Pasteleira

ポルト市内アレイショ街区の解
体の影響で、薬物の密売が同
街区からパステレイラ
(Pasteleira)街区(ロルデロ・
ド・オウロ区に属し、サン・ペ
ドロ・カツラ通り、バルドゥ・
ヴェラ通り及びサン・テ・パ
ロス通りに囲まれた街区)へと移っ
ている。

Bairro do Aleixo (freguesia de Lordelo do Ouro)

ポルト地域の薬物のスーパーマーケットとして知られていた。2011年7月31日
アレイショ街区で、交通検問中の警察官がバイクに乗っていた2人の若者に停車
を命じたところ、逆に2人から突然殴られた。若者の家族や住民らが集まってきた
ため、警察官は応援を要請して、事態を収拾した。
2011年12月16日から5つのTowerの取り壊しが開始された。

アルコゼロ地区

2011年、路上強盗・
侵入強盗等が発生

サン・フェリス・ダ・マリーニャ区

2011年、薬局強盗、郵便局強盗発生

ポルト圏の問題地域



ポルト県ゴンドマールの問題地域



Bairro do Ingote

2つの建物があり、そこにジブシーの家族が生活しているが、大きな問題地域とはなっていない。
この地域には、常に2人の地域担当警察官を配置し、彼らは地域を巡回し、住民に対し、連絡先である携帯電話番号を知らせるなどして、住民との関係を構築している。彼らは地域の実態を十分に把握しており、将来起こりうる犯罪や問題を防止する活動を行っている。

コインブラの問題地域



ロウレ 市内Sobradinho 地区
 強盗事件が多い地域。デンマーク人やフィンランド人、オランダ人など他の外国人も多く在住しており、外国人宅への強盗事件が発生している。

モンテショーロ地区
 2012年拳銃強盗発生

ロウレ 市Vilamoura地区
 2010年、路上強盗ほか侵入強盗事件が多発。

オウラ地区
 2011年、強盗、強姦事件等発生

クアルテイラ地区
 2011年、発砲事件、強盗事件等発生

ロウレ 市Almancil地区
 2010年5月、住宅や商業施設の強盗被害が多発。

アルガルベ地方の問題地域

5 km
 2 マイル



アルガルベ西部地方の問題地域